

和室のスタイルを考える

ライフスタイル。こだわり、おもてなし。

伝統的(真)

格式重視
もてなしどころ
お客様をもてなす場

伝統的派・格式派
格式こだわり派
接客重視空間
宿泊・来客を想定

伝統的な和室を継承



トラディショナルな本格和室。

やっぱりちゃんとした和室がほしい



日常から離れ、伝統の精神性を暮らしに取り入れる茶室。

家族的(行)

居心地重視
いどころ
くつろぎ、集り、食べ、眠る場

合理派・マイペース派
儀式・趣味こだわり派
接客・家族重視空間
来客・将来を想定

家族室としてシンプルに表現



和室は欲しいが、あまり伝統的なものは…。

家族みんなで過ごす楽しい和室



家族が集まり、多目的に使用できる空間。

作業的(草)

居心地重視
しどころ
家事や仕事、趣味の場

生活先進派・エンジョイ派
家族こだわり派
家族だけ気まま空間
日常生活の補完

和風スペースの茶の間



間仕切りのない和洋折衷なモダンスタイル。

和洋室の区別なくライフスタイルを表現。



掘ごたつで家族団らん。

最近の畳は先進的! 選べる遊べる楽しめる 用途に合わせて簡単に和室を模様替えできる畳があるんです!

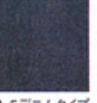
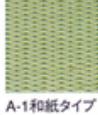
住まいを建てるときには、フローリングや壁紙など細かく選びますが、和室は「何畳にするか? 床の間はどうしよう?」その程度しか検討しない方も多いのではないでしょか? 実は畳には色々な素材や色があり、選ぶことができます。さらに、取り外しのできる唯一の床材である「畳」の利点を活かして、上下を入れかえるだけで、簡単にお部屋の模様替えができる「和室七変化」という畳もあります。

和室七変化

「和室七変化」とは特殊加工を施した15・20mmの薄畳を用途に応じて複数枚積層した畳です。



素材別一覧



積水ハウス(株)
総合住宅研究所
納得工房 工房長



西澤 良雄先生

住宅の時代の背景・潮流はいま“消費から循環”的な時代へ向かっています。又、時は環境と素材の世紀と言われ、キーワードは「長寿健康」です。もちろん永く安全で住み続けられる住宅を提案していくのはもちろん、健康的な生活ができる住宅が望まれています。その中に日本の住まいの「座の文化」が考えられます。「座」は、座るという行為を意味し、床という空間を意味します。～座・床・座る～がいまかなり見直されつつあります。とくに畳という素材がもつ形態・行為が、健康・清潔をイメージするのでしょうか。ただ現状のままで「和室・タタミ」はなくなります。今後の新しい対応が必要になってきます。